

将来は絶望的？！

経済学部経済学科 井上祐
(兵庫県立 武庫荘総合高等学校出身)

私が、大阪産業大学に入学した動機は、体育会系部活動に関心があったためでした。でするので、将来の就職のことなど何も考えずに入学したのです。ところが、入学式直後に、上級キャリアコース担当教員の太谷先生からの説明を聞くうち、いかに自分の将来が絶望的かを知り愕然としました。単に大卒というだけでは、それに見合う就職すら危ういというのではないですか。半ば脅されたかたちとなった私は、上級キャリアコースに挑戦することに決めました。

このコースの学業・就職・進路などの輝かしい実績をみて、「そんなうまくいくか？」と思うかもしれません。実は、当時の私もそう感じた1人でした(太谷先生すみません)。ですが、実際にコースに所属するようになって、そのような疑念はすぐに消え去りました。主な理由は2つあります。

1つは、質の高い講義が提供されることです。ここでいう質の高い講義とは、学問的な観点からはもちろん、就活でも大いに役立つ(＝社会的に評価される)という観点からみても質が高いということを意味します。学問的に質が高いだけの講義なら、他の大学でも受けられるのかもしれませんが、就活でも役立つという側面に配慮した講義が受けられるというのは上級キャリアコースの特徴であり、学生目線および企業目線を十分に意識した結果であると感じます。

2つ目は、かけがえのない仲間を作れる点です。まず、コースに入った段階で、やる気・熱意に満ちた同級生と知り合うことができます。また、全国レベルの学業成績を達成している先輩や、大手企業から内定を獲得しまくっている先輩ともそのうち出会います。さらには、既に大手企業で実際に活躍している多数のOB・OGの方とも親しくなれます。簡単にいうと、今後の人生で大いに活用できる強力な人脈を手にすることができるのです。

ただし、上級キャリアコースは体育会系勉強部と例えられており、本当に厳しい指導がなされますので注意してください。どれだけ厳しいかは他の人がたくさん書いていますので、そちらをご覧ください。ただ、それでも毎年多くの学生が同コースを希望し、実際に輝かしい成果を挙げ続けているのはなぜだと思いますか。上に挙げた理由にくわえて、太谷先生を始めとした先生方が、本気で学生の将来を輝けるものにしようと常に全力で向き合ってくれるからです。死ぬほど厳しい方たちですが、死ぬほど優しい方たちです。

冒頭に記したように、大学生活を無為に過ごせば、将来絶望することになるかもしれません。ですが、みなさんの4年間の努力次第で人生は大きく好転させることができます。実際に、私が経験したように。